

前回の振り返り（各委員から出た意見）

（１）推進計画の評価・検証に関する審議

- 計画に記載されていない新たな課題などについて、ニーズの掘り起こしや対応ができた際には、評価できるような仕組みがあってもよいのではないか。
- 言った意見が反映されていると思うかについて、子どもに問うていくことをすべきだと考える。また、大人も意見が言えているかについても把握していく必要があると考える。

（２）子どもの居場所に関する審議

- 居場所は子どもたちにとって居心地がよく、安心できる場であるべきである。そのために、その居場所にいる大人が子どもの権利について理解していく必要がある。
- 親には見られたくない、先生には言えないなどの思いがある子どもたちがいられる、サードプレイスが中野区の中で充実していくと、子どもの権利が保障されていくのではないかと。
- 活動に基づいた居場所は重要であり、趣味や興味に応じて参加できるような活動がもっと盛んになることで、様々なつながりが生まれ、子どもたちの居場所ができていくのではないかと。
- 子ども食堂など目的のある居場所も大事だが、目的がなくても過ごせるような居場所があるとよい。
- 意見を言いたくても言えない子どもたちの居場所はどうなっているのか。
- 意見を聴いてくれるだけでなく、真剣に向き合ってくれる大人がいることが、子どもにとって安心できる居場所につながるのではないかと。
- 既存の居場所についても、子どもたちの声を聴いたルールづくりなどによって、子どもたちが利用しやすい居場所にしていく必要がある。
- 外国にルーツのある子どもたちの居場所について、ニーズを捉えていく必要がある。